

対象年度	平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート							
事務事業名	地球温暖化対策事業(新エネルギー)						予算事業名	地球温暖化対策事業費		
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令		
			04	01	06	2001	経常経費			
総合計画体系	2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境) 2-6地球環境にやさしいまちづくり(環境保全・排水処理) ②地球温暖化対策の強化 2新エネルギー導入の促進						事業の区分	主要事業		
							担当課係等	生活環境課		
								環境保全係		
	事業期間	継続(平成27年度～平成33年度)								
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】 再生可能エネルギーに関する最新の情報を市民に提供することで、市民に環境への理解と認識を深めてもらう。							【事業開始のきっかけや他市の状況など】 東日本大震災後、原発問題等で再生可能エネルギーに関する市民の意識が高まっている。いばらき自然エネルギーネットワークが平成24年3月に、いばらき水素利用促進協議会が平成28年12月にそれぞれ発足し、再生可能エネルギーに関する情報共有等が可能となった為。			
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】 県、いばらき自然エネルギーネットワーク(県内自治体、民間、茨城大学等が参加)及びいばらき水素利用促進協議会(県内自治体、民間、筑波大学等が参加)と協力しながら、再生可能エネルギーの普及促進に関して広報を行う。							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】 結城市民			
							【事業をとりまく環境の変化】 東日本大震災後、原発問題等で再生可能エネルギーに関する市民の意識が高まっている。再生可能エネルギーについては、太陽光発電が一般的に想像されるが、国の政策では太陽光発電以外の再生可能エネルギーの導入に力を入れ始めている。 市としては、専門家の協力を得ながら様々な再生可能エネルギー普及のきっかけとなる情報提供をする必要がある。			
【平成31年度 事業内容】 県、いばらき自然エネルギーネットワーク及びいばらき水素利用促進協議会と協力していきながら、市民に導入がしやすい再生可能エネルギーの情報収集を行い、市民への情報提供を市のホームページ等により行う。				【平成32年度 事業内容】 県、いばらき自然エネルギーネットワーク及びいばらき水素利用促進協議会と協力していきながら、市民に導入がしやすい再生可能エネルギーの情報収集を行い、市民への情報提供を市のホームページ等により行う。			【平成33年度 事業内容】 県、いばらき自然エネルギーネットワーク及びいばらき水素利用促進協議会と協力していきながら、市民に導入がしやすい再生可能エネルギーの情報収集を行い、市民への情報提供を市のホームページ等により行う。			
■事業費										
財源内訳	国庫支出金			H29年度		H30年度				
	県支 出 金			0		0				
	地 方 債			0		0				
	そ の 他			0		0				
	一 般 財 源			0		0				
	歳 入 計 ( 千 円 )			0		0				
歳出内訳	節(番号+名称)			金額(千円)		金額(千円)				
	歳出計(千円)(A)			0		0				
伸び率(%)										
備考	総合計画 90ページ 予算書 ページ									

# 平成29年度行政評価シート

## ■指標

種類	指標名	単位	H29年度	H30年度	H31年度
活動指標	新エネルギー導入に関する情報提供 市民に対し、新エネルギーについての情報提供をする。	件	目標 実績	2.00 0.00	2.00 0.00
	新エネルギーに関する情報収集 新エネルギーに関する最新の情報を収集する。	回	目標 実績	2.00 3.00	2.00 0.00
成果指標	市ホームページへの掲載 市ホームページに新エネルギーについてのページを掲載する。	件	目標 実績	2.00 2.00	2.00 0.00
	新エネルギーに関する講習会への参加 県等の主催の新エネルギーに関する講習会に参加し、最新の情報を収集する。	回	目標 実績	2.00 2.00	2.00 0.00

## ■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	国は2020年までに標準的な新築住宅の過半数でゼロ・エネルギー化の実現を目指している。そのため、市民への広報は必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	民間で行うことが望ましいが、普及促進のためには市が関与することが必要である。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の活動以上のことをする場合、市全体の方針を示す必要がある。
効率性	コストの効率性 ・人員効率	A 改善の余地はない	現在の活動以上のことをする場合、市全体の方針を示す必要がある。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市ホームページへの掲載であるため、受益者の偏りはない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	現在のところ、成果については不明である。
進捗度	事業の進捗	C 遅れている	市民からの再生可能エネルギー導入の相談は少ない。

総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください

国が再生可能エネルギーを個人住宅にまで導入するよう施策を講じてきている。

市において、市民の再生可能エネルギーに関する意識を高めるよう啓発を図る必要がある。

対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか

県内において、住宅向け、省エネ再エネ関連機器・設備導入に係る補助制度を行っている自治体もある。

本市では、現在、いばらき水素利用促進協議会にも参加しながら、代替エネルギーについても情報収集を行っている。

このような場で他の市町村と意見交流を行いながら、市民に導入がしやすい新エネルギーの情報提供を出来るように改善していきたい。  
。

## ■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））
<input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充) <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開
<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置
改革・改善の具体的な内容（改革案・実行計画）
国や県、他市町村の新エネルギーの状況を情報収集をしながら、本市の新エネルギー政策を具体化していく。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））
<input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充) <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開
<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）
上記評価のとおり。